## 注意 ご使用になる前に必ずお読みください。（本書は大切に保管してください）

## 安全にご使用頂くために

本書では危険を伴う操作・お取扱について，次の警告記号を用いて重要な部分が一目で判る ようにしています。内容を良くご理解の上で本文をお読みください。

』 警告 この表示を無視して，誤った取扱をすると人が死亡又は，重症を負う可能性が想定される内容を示します。
－注意 この表示を無視した取扱をすると，人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定

## －設置 注意

－ディスプレイを取り付ける際はディスゴレイの説明書を異なつた設置条件では取り付けないで下さい。機器の破揁の原因となります。 －デイスプレイの取付は必ず二人以上の作業者で行ってください。転倒及び落下し機器の破揁，怪我をする恐れがあります。 ■搭載荷重以上のものを搭載すると転倒し機器の破損，怪我をする恐れがありますので搭載物の重量を碓認し搭載してください。

## －使用方法 注意

- 設惪後は术ルト，ノフ等の緩みかなないか定期点検を実施してくだきい。
- ディスプレイ取付用ネジについて

「ディスプレイ取付ネジはテレビスタンドに同梱のものを使用します。取付されるディスプレイのメーか・型式によつて使用するネジが

－デイスプレイ型式・メーかによっては，添付ネジで取付できない場合がありますので，その際は，お近くのホームセンターで
URL http：／／www．world－sds．co．jp／furniture／furniture．html

## 1．セット内容

```
A 注意
#選定したテレビスタンドの工具を使用しますのでご用意ください。
```

| 番号 | 部品名 | 数量 |
| :---: | :---: | :---: |
| （1） | 縦横の転ユニット | 1ヶ |
| （2） | 六角レンチ | 1 ヶ |

## 2．ディスプレイ搭載手順

## 1回転トルク調整

## －注意

－ディスプレイに受信等の機器を取り付けるタタプや，左右の重量に偏帰がある場合，任意の角度て固定できない可能性があります


■ 繀横回転ユニット背面にある六角穴付ボルトを調整することで，回転を保持する負荷を変更することが出来ます。必要に応じて付属の六角レンチもしくはお持ちの電動ドライバーで締め付けてください。（図1）
※時計回りに回すと保持する負荷が高くなります。
※出荷時は約 $1.5 \mathrm{~N} \cdot \mathrm{~m}(15 \mathrm{kgf}-\mathrm{cm})$ で締め付けてあります。
図1


## 2 縱横回転ユニット取り付け方法

## －注意

－ディスプレイの取り付けは必ずニ人以上の作業者で行ってください。転倒及び落下し機器の破損 怪我をする恐れがあります。
ーディスプレイを取り付ける際はディスプレイ回転ユニットがディスプレイの中心になるように取り付けしてください
■ディスプレイ表示面にキズがつく恐れがありますので，きれいな毛布もしくはクッション材をご用意ください。
－ディスプレイ付属のスタンドが付いている場合は取り外してください。取り外し方法についてはディスプレイ取扱説明書をご参照ください。
■付属スタンドからディスプレイを外し，ディスプレイ表示部を下にし，きれいなも毛布もしくはクッション材の上に置いてくだきい。（図2）
■ディスプレイ背面に壁掛固定用のネジ穴がありますのでディスプレイ取扱説明書で取付位置等をご碓認ください。
※ディスプレイによってはキャップが付いている場合がありますので取扱説明書に従って取り外しください。
縕横回転ユニット，取付金具位置が合わない場合は取付金具を固定しているネジを2箇所取り外し，位置を合わせて組立ててください。（図3） ※小さいはまうの穴はM4，M5 用，大きいほうの穴はM6，M8用になっていますので使用するディスプレイに合わせて取付金具をひっくり返して使用してくだきい。

－縱横回転ユニットを取り付ける前にディスプレイの電源ケーブル，通信 ケーブルを中心の穴に通してください。（図4）




スタタド付属がライバー


## 3スタンド取り付け方法

```
| 注意
    ■ディスプレイの取付は必ずニ人以上の作業者で行ってください。転倒及び落下し機器の破損, 怪我をする恐れがあります。
    ■デイスプレイの取付は必ず二人以上の作業者で行つてください。転倒及
```

■縦横回転ユニットを付け終えたら，ディスプレイをニ人以上の作業者で支え，テレビスタンドのマウントプレートに縱横回転ユニットを

※必すす確実に引つ掛かつているかを確認してください。
■設置後，縱横回転ユニットとマウントプレートをスタンド付属のドライバーで取付金具固定ネジにてしつかりと固定してください。（図6）
図5


3．估様図



